

産学連携への挑戦 2015

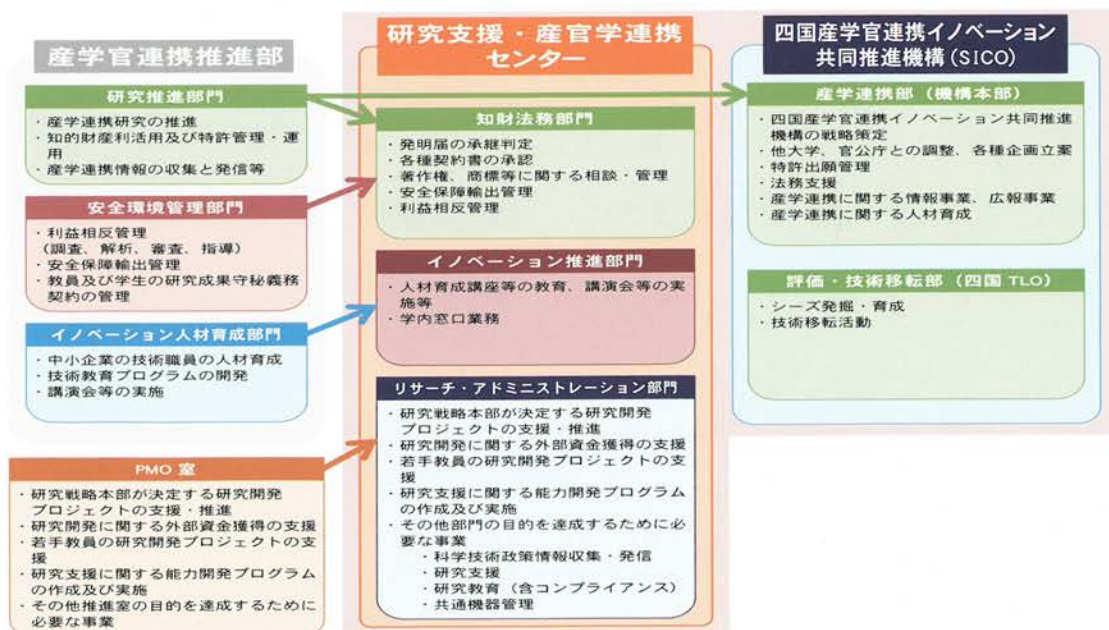
研究支援・産官学連携センターの活動について

研究支援・産官学連携センター長（研究支援担当副学長）
際田 弘志



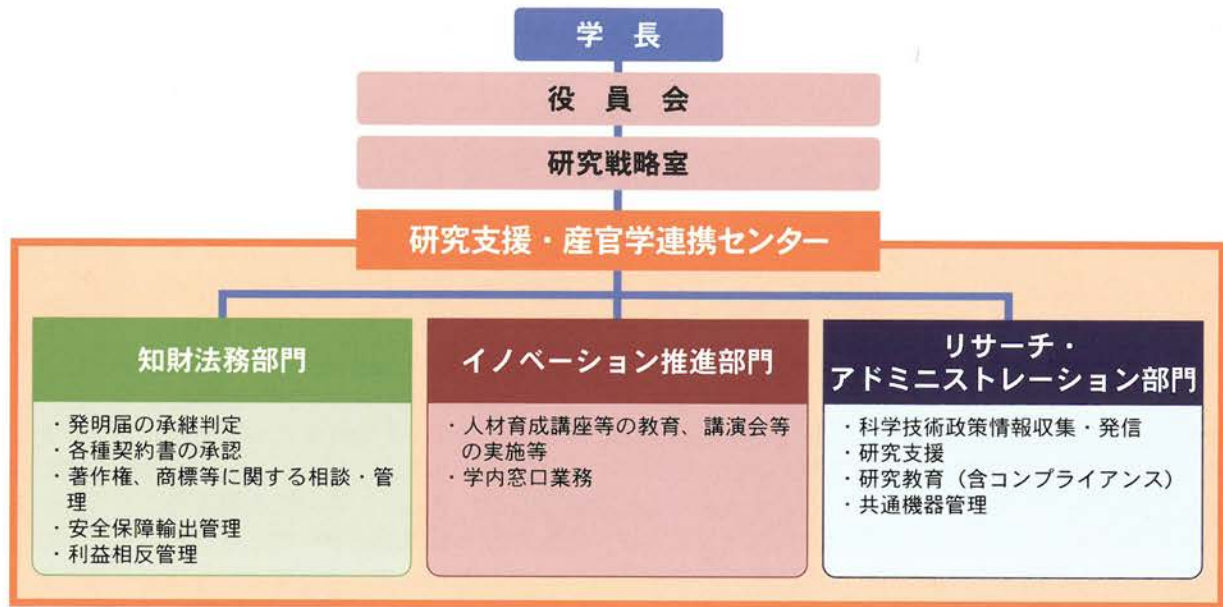
皆様におかれましては、日頃から徳島大学をご支援いただき、まことにありがとうございます。本年4月1日に、産学官連携推進部とプロジェクトマネジメント推進室が合併して、新たに「研究支援・産官学連携センター」が発足いたしました。産学官連携推進部は、大学における研究成果や能力をより効果的に社会に還元することを目的として、主に学外に目を向けた本学の知財の管理運用、共同研究や受託研究の推進に加えて、外部資金獲得のための情報収集や支援を行ってきました。一方、プロジェクトマネジメント推進室は、本学の研究者の研究効率を高めるための支援をするURA（University Research Administrator）組織として、外部資金獲得のための申請書類作成支援や情報収集及び発信等の主に学内に目を向けた業務を行ってきました。しかしながら、両者とも徳島大学の研究活性化を支援する目的は同じで、業務的にも類似点が多く、人材や情報・資材などを共有した方が効率的であるとの観点から統合することになりました。さらに、今回の改組のもう一つの特徴は、本センターが本学の研究に関する最高審議機関である研究戦略室の直結実働組織になったことです。これにより、本センターの業務は全学的な研究戦略に基づいて遂行され、また本センターの活動が的確に全学に反映されることが期待されます。

さて、平成18年の教育基本法改正により、大学の使命として、①教育、②研究に③教育・研究の成果の提供による社会貢献が加えられましたが、それ以来国立大学を巡る環境は大きく変化し、ついには、極端な言い方をすれば「地域貢献の程度によって運営費交付金までが変動する」時代になりつつあります。個人的には人類の文化として、知の創造（研究）と知の継承（教育）こそが大学の使命（人類への貢献）であると思いますが、国の経済がひびく今日では大学の研究成果の産業界や地域社会における活用性が求められているのも理解できますし、従来の独善的な研究に対する警告であるとの考えもできます。このような時代であるからこそ、本学の研究を活性化し、その成果を社会に還元することを目的とした本センターの存在意義は益々高まって来ていると思われまます。本センターの構成員は一丸となって本学の研究発展のために努力する覚悟です。限られた人材・資金ながらも知恵を出し合って徳島大学型の研究支援組織の構築を目指したいと思います。学内研究者の皆様におかれましては、益々のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、ご意見やご要望等がありましたら何なりとお寄せ下さいますようお願い申し上げます。



研究支援・産官学連携センターの運営体制

研究支援・産官学連携センターは、研究支援活動と産学連携活動の連携を図り、徳島大学の研究分野および産学連携分野を強化していくことを目的として、平成27年4月に設置されました。これまで、研究支援についてはプロジェクトマネジメント推進室が、産学連携活動について産学官連携推進部が行ってききましたが、この2つの組織が融合し、徳島大学研究戦略室と一体的に取り組むことにより、相乗効果を発揮し、機動力のある組織として活動を行ってまいります。



最近の徳島大学の実績は以下の通りです。特許権実施等収入は、平成26年度（昨年度）は平成25年度（一昨年度）に比べ、約10倍に増加しています。

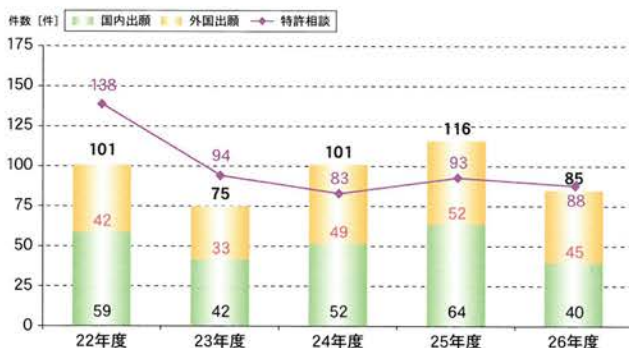
共同研究(受入金額・実施件数)年度推移



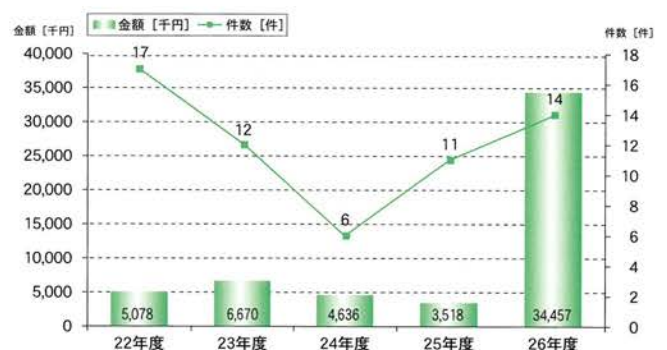
受託研究(受入金額・実施件数)年度推移



特許相談・特許出願件数 年度推移



技術移転件数 年度推移



※金額は実用新案権、意匠権、商標権、著作権等を含む。

知財法務部門

知財法務部門は、徳島大学で生じた知的財産権の取り扱いに関わる窓口として、各種相談、知財管理、契約締結等の活動を行っています。また、四国産学官連携イノベーション共同推進機構及び株式会社テクノネットワーク四国と連携し、共同研究及び受託研究の推進や、大学内で生まれた研究成果を企業へ移転する活動の支援を行っています。

また、国際社会における大学の責任として安全保障輸出管理規則を制定し、安全な環境下で活発に教育・研究活動ができるよう安全保障管理を行っています。その活動の一つとして、教職員の方々に大学における安全保障輸出管理の必要性及び徳島大学の輸出管理の取組を知っていただく機会として、年に数回、安全保障輸出管理説明会を開催しています。さらに、平成25年9月に発足した「四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク」では、四国の国立5大学（徳島大学・鳴門教育大学・香川大学・愛媛大学・高知大学）が連携し、各大学の安全保障輸出管理業務における問題点を共有するとともに、事例検討やセミナー受講、大学訪問を行い、大学における安全保障輸出管理体制の構築を目的として活動しています。

加えて、利益相反管理、教員及び学生の研究成果守秘義務契約の管理等を行っています。



▲安全保障輸出管理説明会（平成27年5月21日）

■ 安全保障輸出管理に関するお問い合わせ先

電話：088(656)9773 FAX：088(656)7593
E-mail：iag-safety@tokushima-u.ac.jp

イノベーション推進部門

ものづくり分野における技術者・管理者等の人材育成について大学教員・企業技術者やそのOB、広域連携による他大学の専門講師の協力を得て社会や顧客ニーズに素早く対応でき、かつコスト削減や課題解決能力を養い企業のエースとなるべき人材の育成を目指し、講座を開講しています。本年度で11年目となり、県内の多くの企業に社員教育の一環として利用されておりま。

徳島大学が平成26年に宣言した「地域と共に未来へ歩む徳島大学宣言」に基づき、講座名も「産業人材育成講座」から「地域産業人材育成講座」に改称しました。本年度の講座の特徴は従来のものづくり基幹産業関連の講座、食品製造関連の講座および平成26年度開講したマーケティング講座をブラッシュアップしたものです。また、新しくロボット講座を設けました。この講座では徳島県の科学技術振興策として計画されたロボット開発の技術者養成の一助としてロボットに関する基礎知識を解説し、簡単なロボット制御実験を体験できる講座となっております。

また本講座で行うインターンシップにおいては、本年度は県外企業も訪問し、より実りある講座になるよう計画しております。

さらに、研究支援・産官学連携センターの総合窓口としての役割も担っております。

プログラムⅠ	3DCAD・プリンターと材料の選択	7/7～9/2	全8コマ
プログラムⅡ	ロボット講座	9/9～11/5	全8コマ
プログラムⅢ	食品加工講座	8/27～11/6	全10コマ
プログラムⅣ	マーケティング講座	11/10～12/8	全5コマ
プログラムⅤ	生産管理講座	12/16～1/27	全6コマ
プログラムⅥ	インターンシップ（講演付き見学会）	2/3～2/17	全3コマ



■ 講座に関するお問い合わせ先

電話：088(656)9884 FAX：088(656)9313
E-mail：iag-jinzai@tokushima-u.ac.jp

■ 総合窓口お問い合わせ先

電話：088(656)7592 FAX：088(656)7593
E-mail：rac-info@tokushima-u.ac.jp

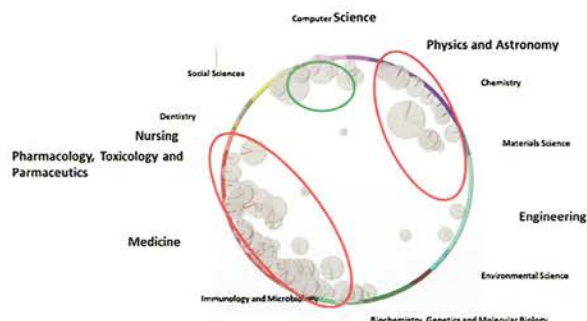
リサーチ・アドミニストレーション部門

リサーチ・アドミニストレーション部門は、基礎研究から応用研究まで一貫通貫した支援を行います。また、地域のニーズを踏まえた異分野融合を強力に推進し、地域活性化の中核大学として持続的発展を可能にする研究支援体制の構築を目的としています。

本部門では、現在、リサーチ・アドミニストレーター（URA）3名を配置しています。本学の研究力を向上させるとともに外部資金の獲得のために、下記の業務に従事し、本学の特性に適した実効が上がる組織体制を構築いたします。

■ 主な業務内容

1. 国内の科学技術政策調査・分析：国の科学技術政策の把握と競争的資金の公募情報の収集・分析
2. 学内研究力調査・分析
3. 研究力強化戦略案策定：社会ニーズに対応した全学的な研究戦略案の策定と研究戦略室会議への提案
4. 研究支援（プレアワード、ポストアワード）：本学名誉教授およびURAによる科研費計画調書作成支援。政府系大型事業の外部資金獲得に向けた支援等
5. 支援組織体制の強化：URA個人や組織として高度なスキル向上
6. 研究教育（含コンプライアンス）
7. 共通機器管理



▲研究力分析ツールによる強みの領域の把握、学内の研究力の定量的な評価・特色等の分析（エルゼビア、SciValより）



▲ 2015年1月13日開催
第1回若手研究者向けオーサーワークショップ



▲ 2015年6月10日開催
JSTマッチングプランナープログラム公募説明会

■ リサーチ・アドミニストレーション部門お問い合わせ先
電話：088(656)9827 FAX：088(656)8015
E-mail：ura-office@tokushima-u.ac.jp

本センターの活動と関連の深い

「四国産学官連携イノベーション共同推進機構 (SICO)」の紹介

四国産学官連携イノベーション共同推進機構（略称「SICO（シコ）」）は、四国の国立5大学（徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学）により運営されており、5大学の研究成果をより多く社会へ還元し、四国地域全体の活性化を図ることを目的として、四国という枠組みのもと連携して産学官連携活動を行っております。

その活動の1つとして、ICTを利用した産学連携支援マッチング情報システム MATCI（マッチ）を導入・運用しております。

MATCIは、SICOの設立に伴い、四国の5国立大学の研究シーズデータベースとして誕生いたしました。

現在、MATCIは、5大学の研究者情報を6,000件以上収録しており、企業の方が求める研究技術情報の検索を容易にすることで、技術マッチングを図り、新規事業の展開や商品開発等に結びつけることができる使用料無料のデータベースとなっております。

企業の方は、興味のある研究シーズがあれば本データベースを通して、クリック一つで各大学専属のアソシエイトに連絡を取ることができ、大学研究者との面談マッチングまでご提供できるシステムとなっております。また、企業の方が関心のある研究ニーズを登録して、大学研究者への広報も可能です。

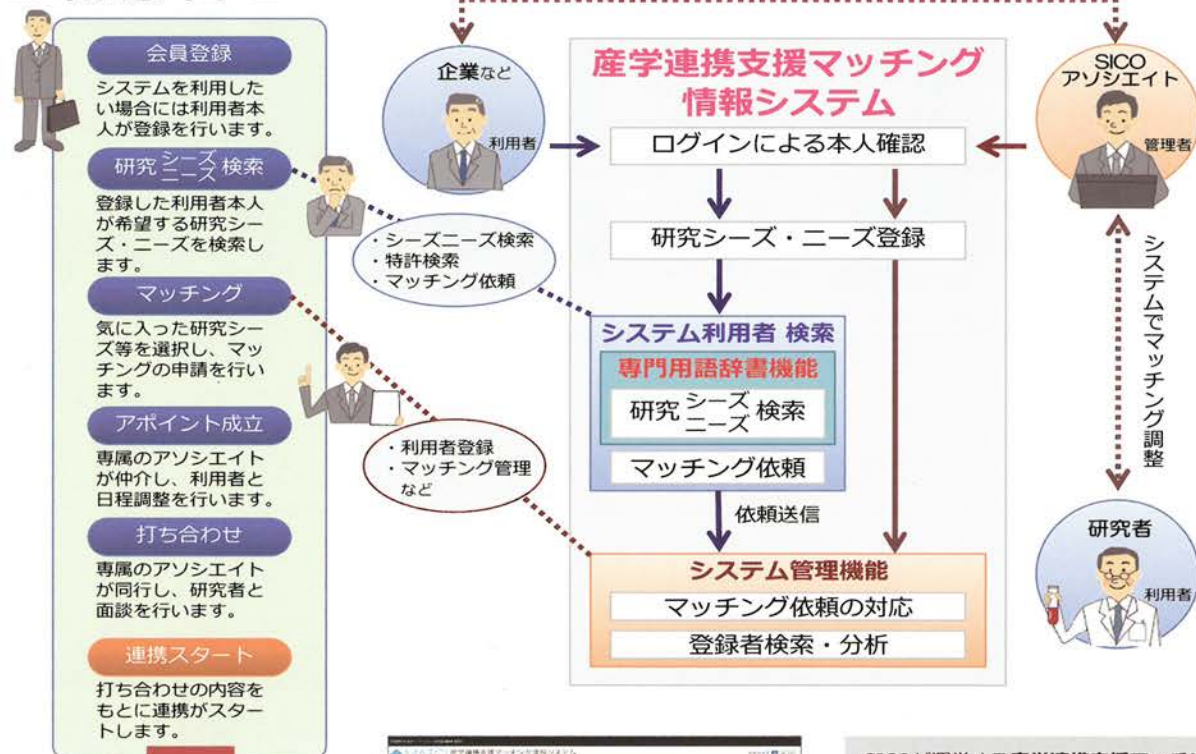
各大学専属のアソシエイトは、企業の方と大学の研究者を仲介する無料の相談役です。商品開発等の事業化のために必要な大学の技術が具体的に思い描けていない場合にも、懇切丁寧にご相談をお受けいたします。

ぜひ、MATCIを利用して、気になる研究情報を検索、クリックしてコンタクトしてください。お待ちしております。

■ 四国産学官連携イノベーション共同推進機構 (SICO) お問い合わせ先
電話：088(656)9702 FAX：088(656)7274
E-mail：sico-office@tokushima-u.ac.jp

産学連携支援マッチング情報システム「MATCI (マッチ)」

■ 概念図 ■



共同研究 **3** 件成立

SICO

総コンテンツ数
10,063 件

SICOが運営する産学連携支援マッチング情報システム「MATCI (マッチ)」は、大学研究者の成果を集約し、企業が求める研究技術情報の検索を容易にすることで技術マッチングを図り、新規事業展開や製品開発等に結び付けることができるWebシステムです。本システムは、JSTの J-GLOBAL および researchmap、NII の KAKEN と連携しております。



※2015年7月17日現在

下記URLより無料にてご利用頂けます。

<http://sico.jp/matci/>

- メールニュース配信のお知らせ
研究支援・産官学連携センターではメールにてイベント等の情報を発信しております。メール配信をご希望の方は E-mail rac-info@tokushima-u.ac.jp までご連絡ください。
- Facebook を開設しました！
研究支援・産官学連携センターの Facebook に、是非「いいね！」をお願いします。
<https://www.facebook.com/tokudaisuishinbu>

編集・発行
お問い合わせ
連絡先

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地
徳島大学 研究支援・産官学連携センター センター長 際田 弘志

電話：088(656)7592(総合窓口) FAX：088(656)7593
E-mail：rac-info@tokushima-u.ac.jp URL：http://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/